

授業科目名 (英文名)	専門基礎演習 (Second-year Seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	吉田 康志	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的) 次年度以降の研究演習への参加にスムーズに繋がるようなスタディスキルの獲得を目的とする。</p> <p>到達目標) 具体的には、学生が論文作成を前提に置いて、データ収集、文献調査、文章作成、プレゼンテーション等ができるようになることを目標とする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>I 講義内容 アカデミック・スキルズを演習形式で身につけていく。また、経済に関連する基本的な文献を読むことで、経済学における基礎的な概念、金融制度に関する基礎知識を学ぶ。</p> <p>II 授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 導入 1 2 導入 2 ゼミの進め方 3 1 . アカデミック・スキルズとは 4 1 . アカデミック・スキルズとは 5 2 . ノートテイキング 6 3 . 情報収集 7 3 . 情報収集 8 4 . ディスカッションとは 9 (ゼミ生によるディスカッション) 10 5 . レジюме作成 11 (レジюме作成と報告) 12 (レジюме作成と報告) 13 (ゼミ生によるディスカッション) 14 (ゼミ生による企画) 15 (前期のまとめ) 16 後期ゼミの導入 17 6 . ブレインストーミング 18 7 . レポートの作成 19 8 . 文献購読 20 8 . 文献購読 21 8 . 文献購読 22 8 . 文献購読 23 8 . 文献購読 24 (レポート作成と報告) 25 (レポート作成と報告) 26 9 . 論理的な文章 27 9 . 論理的な文章 28 (ゼミ生によるディスカッション) 29 全体のまとめ 30 全体のまとめ 		
テキスト	特に指定はしない。必要に応じてハンドアウトを配布する。		
参考文献	必要に応じて適宜紹介する。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準) 研究や論文に関して一般的な理解があり、基本的なアカデミック・スキルズを用いることが出来る者に単位を与える。また到達目標の達成度合いに応じてAからCまでの成績を付与する。</p> <p>成績評価の方法) レポート提出50%、報告50%を基準として、受講態度を含めて総合的に評価する。</p>		

履修上の注意・履修要件	事前の専門知識は必要としない。
実践的教育	該当しない
備考	【注意】 ・ゼミ形式の授業に参加するにあたっての最低限の心構え（無断で遅刻欠席をしない、活動には積極的に参加する、ゼミ参加者に対しては相互に敬意を払う、など）ができていることが参加の条件となります。